

令和7年度 七ヶ宿町 子ども議会

令和7年度「七ヶ宿町子ども議会」が、12月15日(月)に開催されました。七ヶ宿小学校5、6年生14名、七ヶ宿中学校1年、2年生9名の子ども議員が、町の未来について堂々と質問しました。

子どもたちの声を、町政へ



▲議長を務めた高崎蒼さん
落ち着いた進行でした

町の未来を担う子どもたちが、「こうしたい」「こうなってほしい」という思いを、町長や教育長、担当課長へ直接問い合わせました。今回の一般質問は全8件。農業、遊び場、観光、交通、安全対策など、大人顔負けの鋭い視点と具体的な提案が次々と飛び出しました。

①源流米をもっと誇れる町に

七ヶ宿小学校

6年 梅津詩衣那さん



●質問のポイント

- ・猛暑でも源流米はどれくらい作られているのか。
- ・農家が減っていると聞いたけれど、将来は大丈夫か。
- ・源流米を使った「なないろ煎餅」を作れないか。

●町の答え(要約)

- ・年間約261トンを生産。町民約4,880人分に相当である。
- ・農家数は減少しているが、若い世代が水田の6割を担う。
- ・「なないろ煎餅」は商品化の可能性を検討する。

③自然を守りながらスキー場を元気に

七ヶ宿小学校

6年 高橋芽依さん



●質問のポイント

- ・イヌワシを守るために何が行われているか。
- ・子ども向けイベントは増えているか。

●町の答え(要約)

- ・国の規制に基づき厳重に保護
- ・子ども料金の引き下げ、宝探しなどイベントを実施する。



②子どもも大人も集える公園を

七ヶ宿小学校

6年 村上凜花さん



●質問のポイント

- ・公園が少なく、道路で遊ぶと注意される。
- ・新しい学校に、地域の人も使える公園がほしい。
- ・大人と子どもが交流できる仕組みは。

●町の答え(要約)

- ・公園不足は課題と認識している。
- ・義務教育学校整備と合わせて交流の場を検討する。
- ・町独自カードゲームなど新しい交流案も検討する。

④観光情報はどう伝わっている?

七ヶ宿小学校

6年 大和哲朗さん



●質問のポイント

- ・観光情報はどれくらい見られているか。
- ・旧道の駅跡地はどうなるか。

●町の答え(要約)

- ・HPは年間18万件以上のアクセスである。
- ・旧施設は解体後、景観を活かした活用を検討する。

⑤中学校前バス停をもっと使いやすく

七ヶ宿中学校

2年 岡崎つばめさん

2年 高橋ななさん



●質問のポイント

- ・中学校前バス停の屋根が高く、雨や雪のときに濡れてしまう。
- ・幅が狭く、人数が多いと中に入りきれない。
- ・夏は日差しを防げず、冬は風が入り寒い。
- ・ベンチが木製で、濡れると乾きにくい。
- ・大きな工事でなくとも、簡単な改善でよくならないか。

●町の答え(要約)

- ・現在のバス停は、平成8年に除雪車の通行を考慮して設置された。
- ・柱の位置や高さの関係で、風よけ壁の設置は難しい。
- ・数年後の義務教育学校建設に合わせ、バス停の在り方を総合的に検討する。
- ・ベンチの素材など、できるところから現地を確認し検討する。

⑥役場前バス停に自動販売機を設置できないか

七ヶ宿中学校

1年 佐野天音さん

2年 市川優悟さん



●質問・提案のポイント

- ・役場前バス停に以前あった自販機がなくなり不便。
- ・暑い夏や寒い冬に、飲み物を買える場所がほしい。
- ・災害対応型自販機なら、防災にも役立つ。
- ・夜間は明かりがつき、防犯面でも効果があるのではないか。

●町の答え(要約)

- ・以前は募金機能付き自販機やアイス自販機を設置していたが、利用が減り撤去された。
- ・現在は役場入口に災害対応型自販機を2台設置している。
- ・役場前バス停への移設は、設置事業者の判断が必要である。
- ・事業者に対し、設置や移設の可能性を提案する予定である。
- ・周辺には防犯灯があり、一定の明るさは確保されている。

⑧中学生のアイデアを観光に生かしたい

七ヶ宿中学校

1年 高橋來善さん

2年 日野玲隼さん



●質問・提案のポイント

- ・若い人や外国人、障がいのある人も楽しめる観光を考えたい。
- ・七ヶ宿ならではのお土産を増やしたい。
- ・中学生が考えた観光アイデアを、町の人と話し合う場がほしい。
- ・SNSや写真を使った発信もやってみたい。

●町の答え(要約)

- ・観光客は年々増えており、イベントやSNS発信が効果を上げている。
- ・外国人向けに多言語パンフレットや案内板を整備する。
- ・バリアフリーはトイレなどから順次整備する。
- ・お土産は事業者主体だが、町はブランド認定や補助で支援する。
- ・中学生との意見交換の場を設け、直接話を聞きたいたい。

教育長からのメッセージ

「自分たちの町は、自分たちで考える」その姿勢がとても頼もしく感じられました。

今日の経験を、これからの学びやまちづくりにつなげてください。

子ども議会は、子どもたちが主役の“本物の議会”でした。

大人にとっても、町を見つめ直す大切な機会となりました。